

当院の検診上部消化管内視鏡検査における 逆流性食道炎ならびにバレット食道の頻度と危険因子

済生会熊本病院では、医学の発展のため患者さんの診療情報等を使用し、本研究を実施しております。ご質問や利用停止等のお申し出は、「問い合わせ先」へご連絡下さい。

研究の目的と方法

近年、日本ではヘリコバクター・ピロリ感染率の低下、食生活の欧米化、肥満などに伴い逆流性食道炎が増加し、また、逆流性食道炎が原因で起こるバレット食道も増加しています。バレット食道は癌の発生母地になりうるため注意が必要とされています。

今回、逆流性食道炎ならびにバレット食道の発症頻度、また、発症に影響する危険因子について検討します。

診療の中で得られた情報を使用します。この研究のために新たな検査や調査をお願いすることはありません。収集した情報は個人情報削除の上で解析・検証を行います。

研究の対象となる方

2020年8月予防医療センターで上部消化管内視鏡検査を受けられた方

使用する試料・情報

年齢、性別、BMI、既往歴、内視鏡検査所見

研究予定期間

〇〇年〇月〇日[研究実施許可日]～2022年6月11日

個人情報の取り扱い

研究情報は、許可された研究者のみが使用します。研究成果を学会等で発表予定ですが、個人が特定されないよう氏名等を削除した情報や集計結果を用いますので、プライバシーは守られます。

[研究の情報管理責任者] 予防医療センター 村岡正武

[当院の個人情報管理責任者] 院長 中尾浩一

研究への協力について

研究目的にご自身の診療情報等を利用されることを希望されない場合は、研究対象とせず、利用を停止すると共に、収集した情報等も可能な限り削除します。本研究への協力は患者さん治療とは関係が無く、ご協力いただけない場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ます。

問い合わせ先

済生会熊本病院 予防医療センター 村岡正武

住所：熊本市南区近見5丁目3番1号 電話：096-351-8000(代表)